



第8期活動報告

(2023.12.01 ~ 2024.11.30)

NPO法人HA-HA-HA

Annual Report

2023





Top Message

ことばを大切に。

こころに届く言葉を

いつも子どものそばに。



ちかごろ言葉を大切にしないと．．．よくそう思います。
「厳しい指導」や「ことば遊び」という名で．．．いろんな
場面を見聞します。

？LABには魅力的で、個性豊かな子どもが集まります。

そして感じ方や表現方法、「ひとそれぞれ」とみな言いますが、個性を認めたり、相手にどう伝わるか、こだわって伝えている人は意外と少ない。

だからこそ子どもたちにはコミュニケーション力を身に着ける支援を届けたいと考えています。それが生活力や経験を積む力に繋がっていくと感じているからです。

今回の報告書では色んな丸で、個性豊かな子どもたちを表現しています。

NPO法人HA-HA-HA 理事長



子LABの一步



長谷川社労士事務所さん、黒田公認会計士事務所さんのご指導から、認定NPO申請、働き方推進などに繋がりました。

また障がいのあるスタッフが長く働く職場であることもピアサポート体制整備に繋がりました。皆さんの協力もあり、スタッフみんなイキイキと頑張っています。





相談支援事業所 子LABの状況

相談支援事業所の最大の課題は相談支援専門員の育成・増員と業務内容のスマート化です。

今期、相談支援専門員1名の育成を行い、今後に備える体制をとりました。来期にも計画を継続していき増員と支援能力の強化を図っているところであり、この辺りは進化しているところになります。

しかし非常に多岐にわたる業務の割に行政の報酬的な支援は少なく、加算も増加傾向ではありますが、まだまだ実情に合っているとは言えません。そのため自分たちなりに業務軽減をはかり、省力化しながら、増員や職場環境の改善をしていかなければなりません。

来期には省力化に向けたシステムの導入に向けて計画しており、有効活用できれば大きく省力化される部分が出てくるものと想定しています。



相談支援の利用者（保護者）の声

困っていることや悩んでいること、不安に思っていることなどを相談しながら子どもに合ったサポートをしてもらっています。

またいろんな角度からのアドバイスもいただけるので助かっています。

成長とともに分からないことも増えていくので今後も相談させてもらえることがとても心強いです。



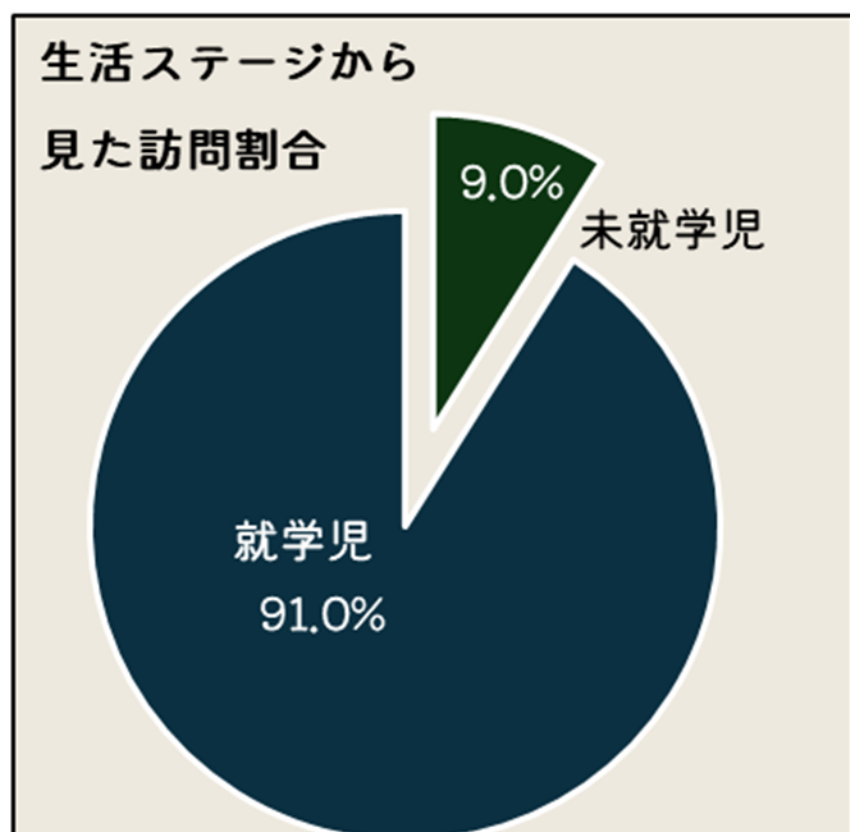


保育所等訪問支援の活用状況

私たちの訪問支援の特徴として、就学児への訪問割合が非常に高いことが挙げられます。

これはベテラン教員経験者が在籍したこと、多職種が在籍したことに加え、教育委員会や訪問先学校と丁寧に議論を重ねてきたことによります。

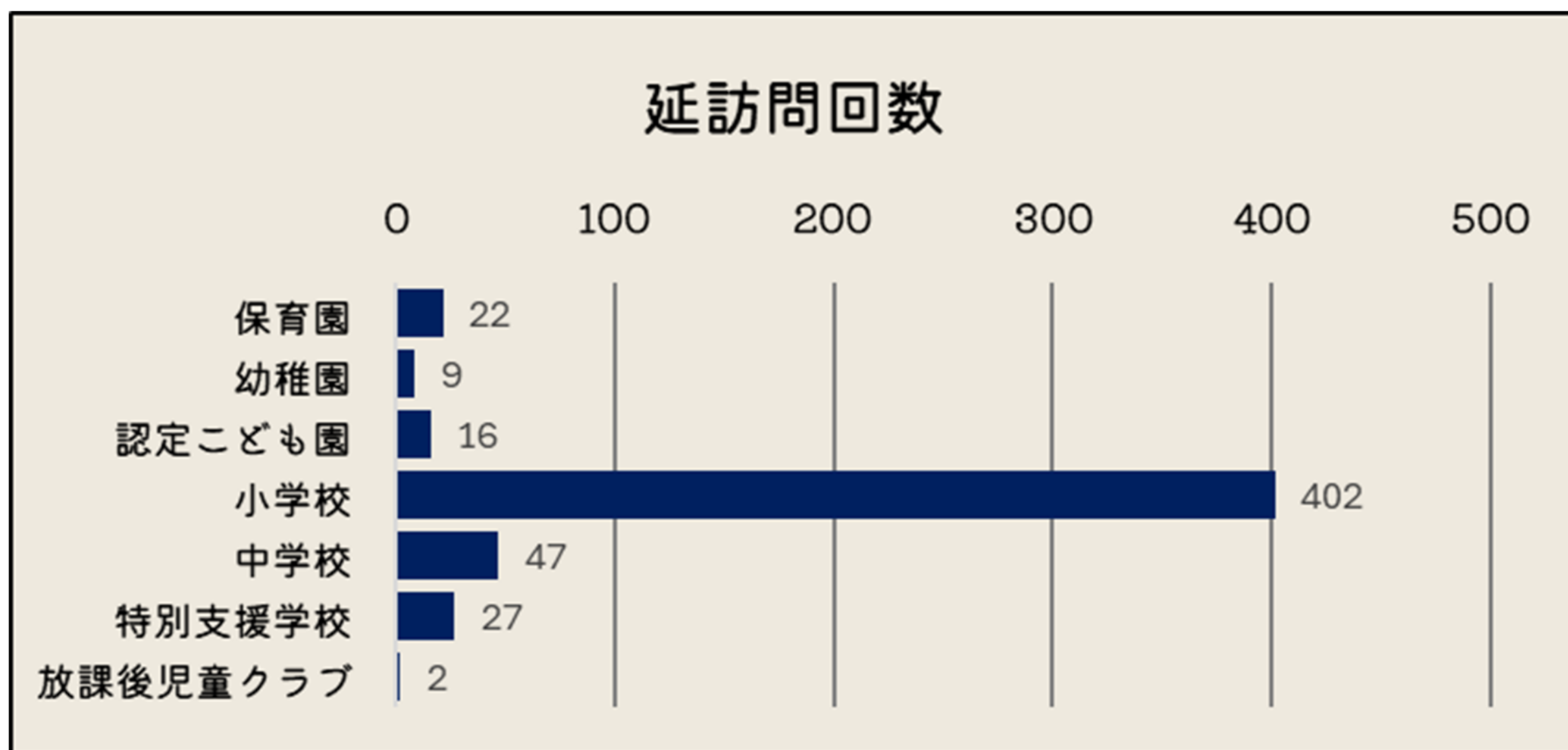
今後は訪問支援員の増員があれば、未就学児も増加していくことが想定されますが、全国的にも非常に珍しい傾向だろうと考えています。



下の図は延訪問回数を提示しています。圧倒的に小学校が多いことが見て取れますが、中学校、特別支援学校にもしっかりと訪問実績を作り、また放課後児童クラブへ訪問する等、厚生労働省が想定するほとんどの訪問先に訪問できている実績と言えます。

未就学児の支援では、保育所等訪問支援での支援の他、小学校への支援児情報の共有支援として、保育・指導要録のための発達評価シート（TASP）を活用した支援も行っております。

これらの行動と通所支援での担当者会議や相談支援での通園・通学先と保護者を交えたディスカッションにより、実りのある支援を行えるよう努めています。





子LAB利用者（保護者）の声

『中学生男子のお母さんより』

幼稚園時から支援は放デイと訪問を利用します。訪問では学校の様子から学校の先生と支援について相談してもらい、個別懇談も丁寧に行ってもらっています。

不安・心配事を子LABと一緒に取り組めるので、母としては子LAB、学校、家庭で安心して支援ができています。子どもも楽しく通所しています。

失敗しても、自分の力で何でもしてみよう、挑戦することができるようになってほしいと思っています。先生方にサポートしてもらってすごく成長しました。

これからもよろしくお願いします。



『高校生男子のお母さんより』

親子共々にとって、子LABさんはとても心強いです。こちらが気が付かないこと、不安なこと等があると、まず利用者である本人に直接話をしていただき、親子に向き合ってくれます。

利用させていただいて感じる事が3つあります。『とても丁寧に接してくれます』・『自分で決める機会を提供してくれます』・『本人がやりたいことが出来る場所です』

また保育所等訪問支援は利用まで知りませんでした。利用できて、本人にとって学校生活が過ごしやすい時間となったことは間違いありません。

少子化ではありますが、私達のように不安に思われて過ごして見える方が沢山いると思います。今後、まだまだ支援は必要となってくると思います。親子にとっていつも頼れる存在でいてもらえると助かります。



子LABの保護者支援

子LABでは様々な保護者支援を行っています。

そのベースは利用者との定期的な面談であり、悩み事だけではなく、必要があれば立ち入ったことを聞くこともあります。

また相談支援事業が併設されており、通所と相談を併用している場合には多角的に情報収集がなされ、子どもの状況と併せて、必要な支援を選択します。

『気楽な保護者へ』～ペアレント・プログラムの活用

子どもの「できない」を知っても、

できるのスタート地点「できている」は分かりません。

子どものスタート地点を支援者や他の保護者と一緒に気付くことで、とても『こころ』が軽くなり、気楽な保護者になってもらいたいと思っています。



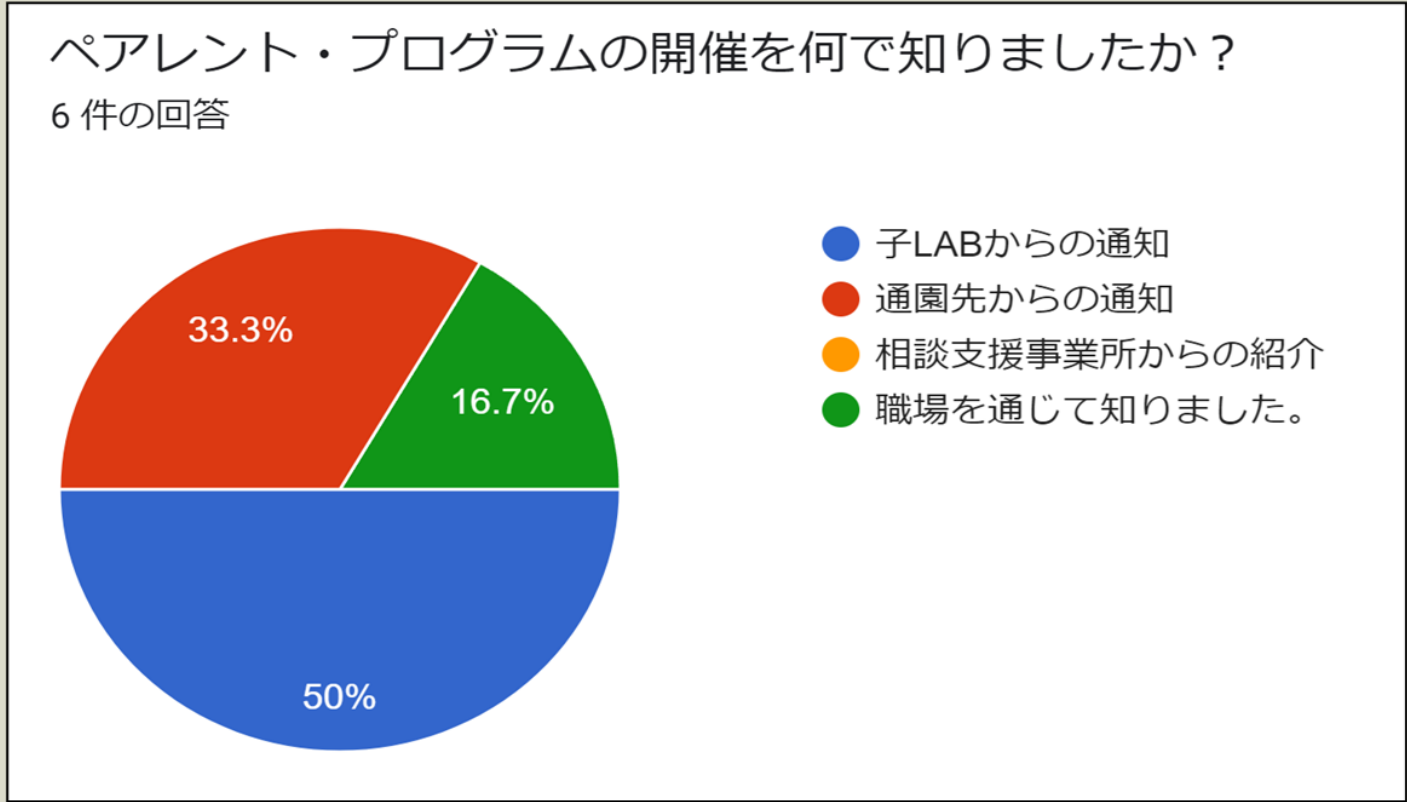
(津市後援事業)

ペアレント・プログラム

ペアレント・プログラムは厚生労働省が推奨する、保護者の抑うつ度の低減、養育環境の向上というエビデンスを有する支援です。年2回、隔週全6回、6名定員のプログラムです。また施設内外からプログラムを実施する支援者の育成しています。

毎回抽選となっており、好評をいただいております。

ペアレント・プログラムアンケート結果



津市の協力により、市内の保育園でチラシを配布していただいていることから、通園先からの応募が多くなってきていることが分かります。今後も多くの方にご参加いただける体制を採っていきます。

アンケート結果（参加6名の平均値）は好評を得たようで、大変うれしいです。

ペアレント・プログラム（以後、ペア・プロ）の特徴的効果で抑うつ度の軽減などいい点が結果から見て取れます。

他の特徴はペア・プロに参加して、「子育ての視点が定まったと思いますか？」と「ペア・プロ参加して、子育てに定着しそうに感じますか？」の2点が他と比べるとやや低くなっている点です。

考え方の癖などで、その定着しやすさは変わり、複数回のペア・プロ参加も可能です。そして考え方が戻ってきたと感じられたら、振り返り可能なプログラムであることもペア・プロ特徴となっています。

保護者の気が楽になり、子どもも過ごしやすくなりそうな結果となりました。

(ペアレント・プログラムの雰囲気はよかったですか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★
(ペアレント・プログラムに参加して、子育てに向かう気持ちが軽くなりましたか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★
(ペアレント・プログラムに参加して、子育ての視点が定まったと思いましたか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★
(ペアレント・プログラムに参加して、新たな発見がありましたか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★
(ペアレント・プログラムでの体験が子育てに定着しそうに感じますか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★
(ペアレント・プログラムの振りかえなどの参加サポート体制は十分でしたか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★
(ペアレント・プログラムに参加してよかったと思いましたか？)				
1	2	3	4	5
★	★	★	★	★

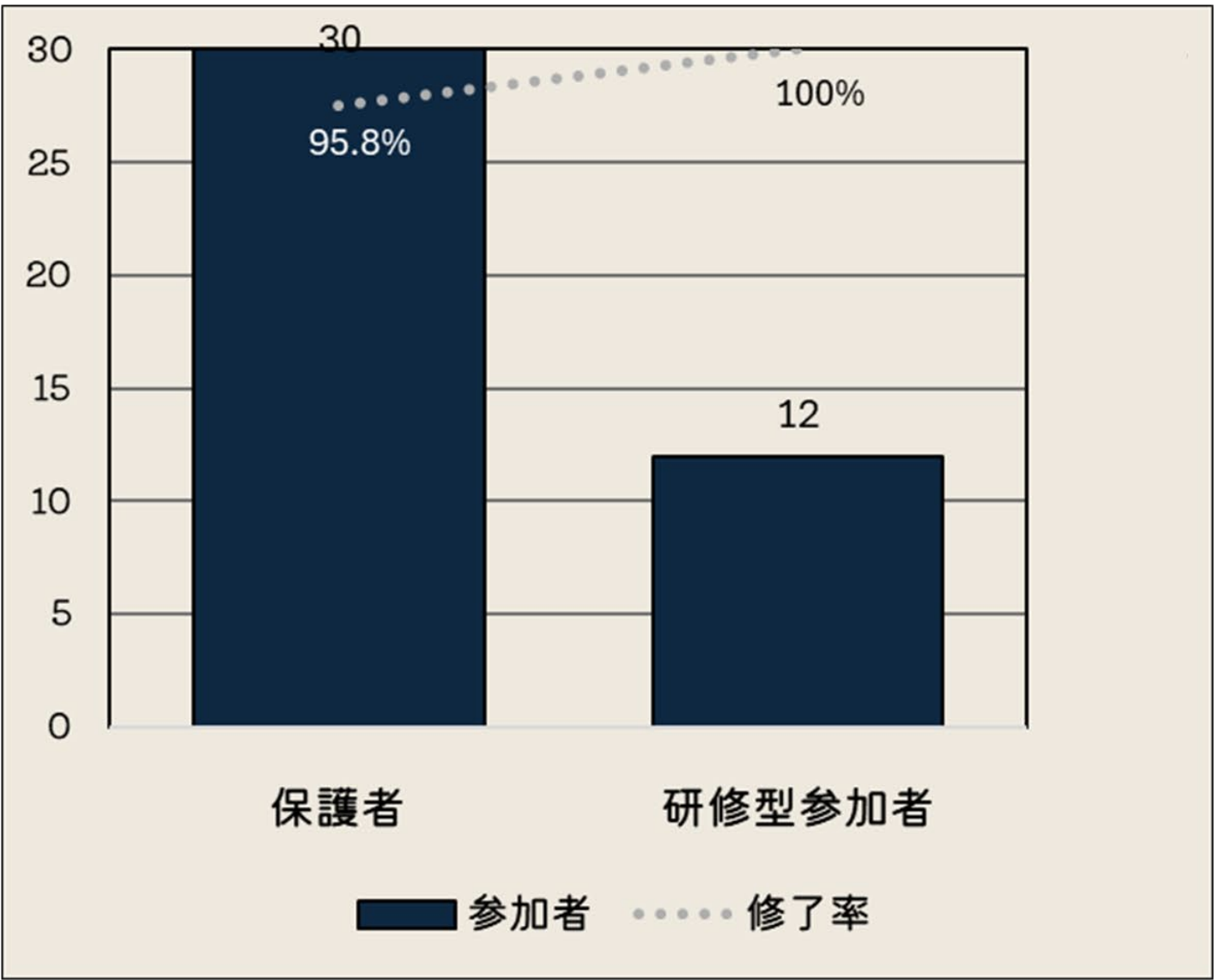
ペアレント・プログラムの開催 (津市後援事業)

自分のこと、
子育ての
ことなど見直す、
見返す良い経験だった
と思います。

子どもに対して
すぐ褒める癖がついま
した。小さなこと
でもできていることがあれ
ば褒めるようにしています。また、
職場での子どもに対しても寛容になれて
います。困った事があった時には、できな
い事ばかりに目を向けるのではなく、でき
ているところに目を向けることで自分も
子どもも精神的にストレスを減らすこ
とができると知る事ができました。



他のお母さん
との交流が
楽しく刺激になり
ました。





参加したことで自分と子供のことが可視化でき、自分も子供も思ってたよりちゃんと毎日頑張ってるし、しっかり成長してるんだなあと思えました。ペアでの話し合いも自分にはない考えや視点が見ることができ、興味深かったです。6回すべて楽しくて面白かったです。ありがとうございました。

最後は少し難しく感じた。

同じ悩みをもつママ同士でコミュニティを広げられればいいのにな…とも思った。自分を見つめ直すとてもいい機会になった。私生活にしっかり取り入れていきたいと思った。



今回参加することができて、本当に良かったです。毎回優しくお導きいただいたおかげで、安心して参加することができました。ありがとうございました。今までは自分にも夫にも子どもにも厳しかったなと思いました。みんな頑張ってる！という視点で、以前よりも肩の力を抜いて、感謝の気持ちやリスペクトの気持ちをもって一緒に過ごしていきたいです。

また行動に注目し、その行動が起こりやすい状況を見ることで、実は困っていないときや、できているときもあることに目を向けることで、イライラや不安が減るので、これからも忘れずにしていきたいと思います。贅沢を言いますと、このような学びの機会が他にもいくつかあると嬉しいです。



定期的な個別懇談

丁寧な個別懇談を心がけています。

子LABでは半年に1回、要望や子どもの状況により回数を増やして保護者さんとお話しする機会を設けさせていただいています。

本人の意思を保護者に知ってもらう機会、支援にいきわたらせる機会として、懇談には利用児本人が参加可能であれば参加することも積極的に行っています。

子LABでは同じ目線での保護者との関係性作りをしています。言いづらい話題でも保護者からも、支援者からも積極的に、前向きに話す機会にしています。



親LAB テーマ別懇談会 & 茶話会

地域の茶菓子とともに保護者さんと一緒に一つの話題について情報提供したり、茶話会として、保護者さん同士でいろんな話をしてもらったり、支援者である私たちを知ってもらう機会にしています。

コロナ禍は開催できず、少しずつテーマを増やしていきたいところでしたが、中断が入ってしまってから、現時点ではこの二つを開催するに留まっています。

子LAB 茶話会

11/19 火

10:45~11:45

場所 子LAB

子ども連れでもOK

お菓子をかこんで、お母さんお父さん同士でいまこまっている悩みや成長について話をしたり聞いたりしてみませんか？

申込み方法
10月31日(木)までに
①氏名②お子様の年齢を
LINEにてお申し込みください

参加費は11月利用料で家族支援加算を申請させていただきます。

年長児対象 親LAB

○年長児の保護者の方を対象に就学に向けて、お子様に合わせた学習や就学環境を整えるための準備・スケジュールについてご説明させていただきます。
○両日同じ内容です。ご都合のいい方にお申し込みください。
○日程が合わない方は、個別でもご説明の機会を作らせていただきます。
スタッフまでお申し出ください。

日時・場所
①6月4日(火) 10:45~11:30 子LABch2
②6月19日(水) 10:45~11:30 子LABch2

申込み方法 開催日前日までにご希望の日程と参加人数をLINEでお申し込みください
どちらの日程でも良い場合もその旨お伝えください
(比較などご相談承ります)

内容 ・就学前相談について
・支援級や特別支援学校、通級を選ぶときに考えたいこと
・就学準備について

○全体説明終了後、希望者を対象に個別でも就学先を相談できる機会を設けてさせていただきます。ご希望の方は申込時に合わせてお申し込みください
○参加費は5月利用料で家族支援加算を申請させていただきます
年中・年長児さんは無償化対象のため請求はありません。

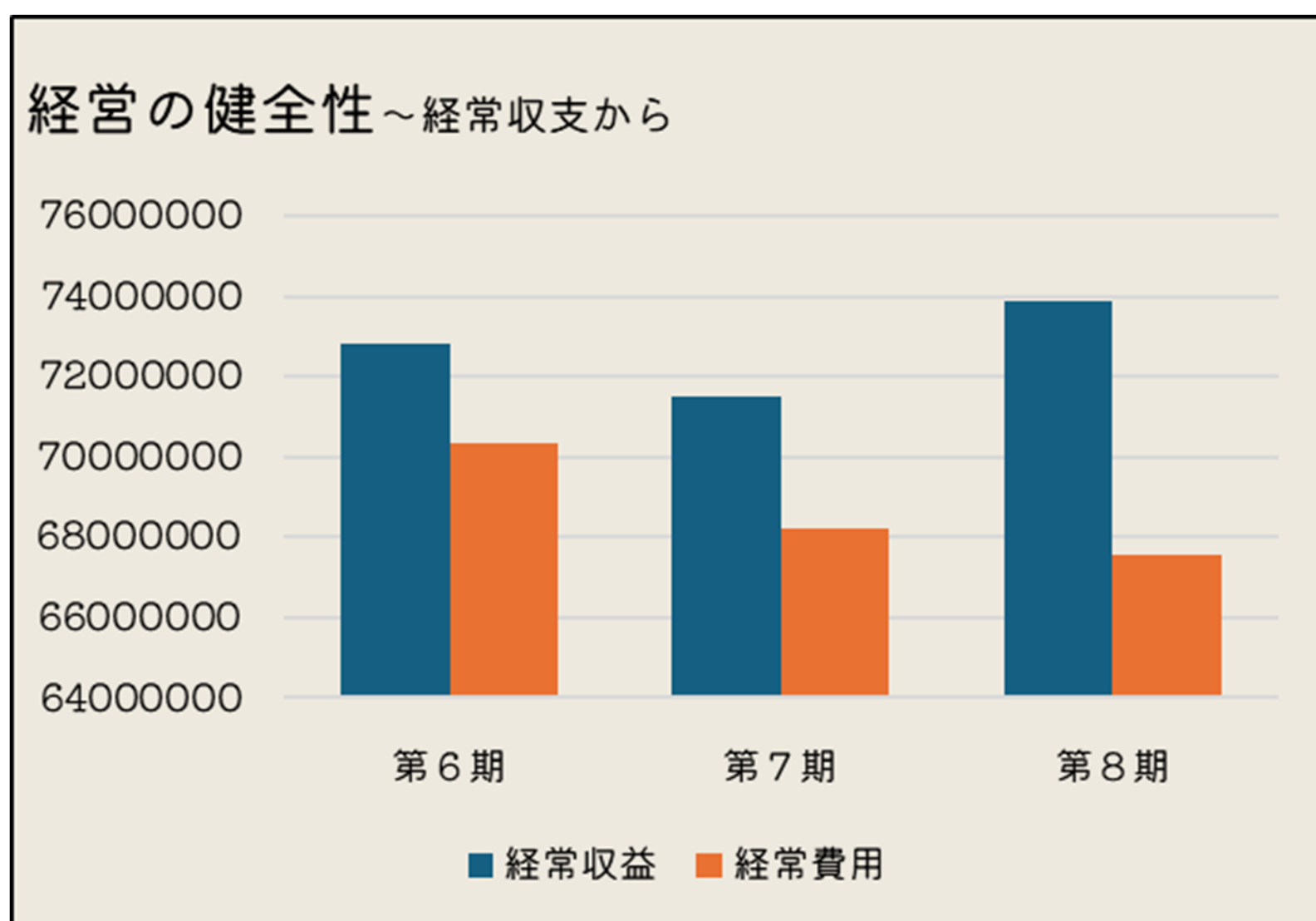
ペアレント・プログラムの感想でもあったように、保護者さん同士が繋がったり、支援者と話しやすい環境を提供して、今後に繋げていく大切さは痛感しています。

少しでも環境を整えていければと思います。



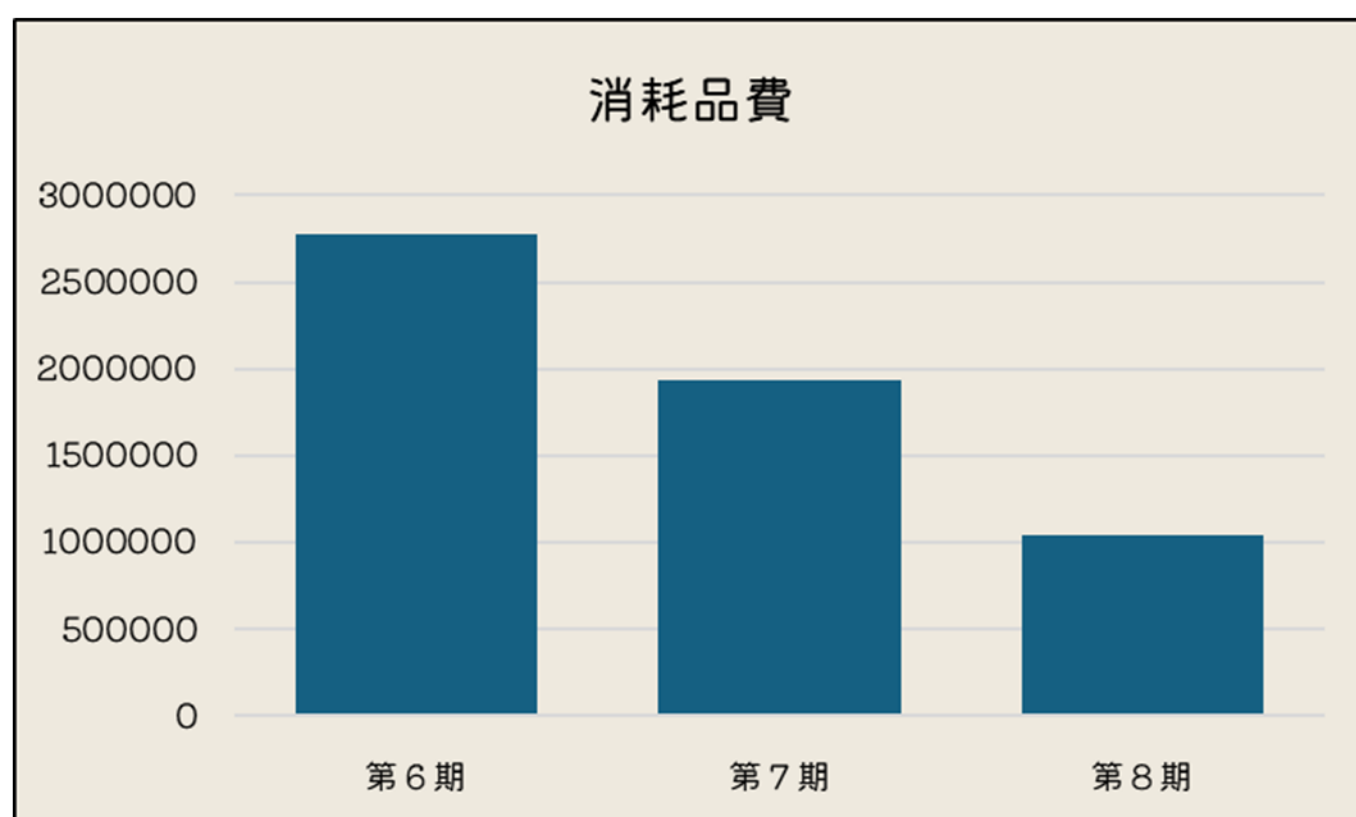
子LABの経営の健全性

コロナ禍にかなりの影響を受けましたが、費用の削減を積極的に行ってきた結果もあり、何とかプラス経営できてきました。第8期については第1四半期には、多様な感染症が子どもの間で流行したことを受け大きく利用が減少しました。それ以降には職員の努力もあり、利用が安定し、運営自体も落ち着いていきました。



利用調整による利用の安定化が大きなプラス要因ですが、消耗品費など大きく削減を行っております。

ペーパーレスなど基礎的な部分もIT活用により進んできており、少しずつ基盤が新たなものへと置き換わりながら、事業自体が進化していると思っています。



一方で民間助成金の活用などが多忙で申請自体が行えておらず、それらを活用を進めていく必要を感じています。

そのため目的を持った情報収集から行い、申請を積極化していきます。



HA-HA-HAの3か年計画

子どもが使える

ネット環境配備

法人運営の

基盤強化

職員の働きやすさ

待遇向上

相談支援の

働き方改革

訪問支援の

再整備

広報強化と新たな

支援者層の獲得

三重の木・国産材

での遊び場づくり

就業を目指した

遊び場の構築

相談支援の

分業・多機能化

子どものネット

環境基盤整備

DX化への連携強化

法人運営の安定化

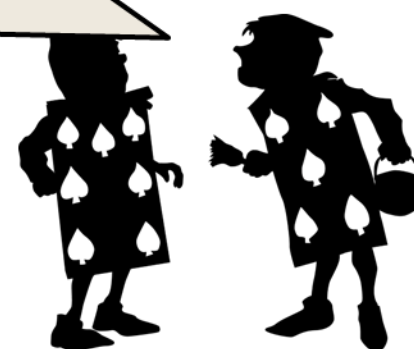
支援継続の安定化

第10期

第9期

第8期

子LABがHA-HA-HAと笑いながらこんな計画してるらしいよ!!



HA－HA－HAは利用者と共に職員の豊かさも大切にしています。そのため職員の多様な豊かさを実現したいと考えています。

そのため多忙を極めた相談支援の働き方改革を進めるためDX化の基盤整備を行いました。そして今後は十分な費用対効果が得られ、支援の質を損なわず、省力化できる対策を実施していく予定です。

その計画には様々な副効果が含まれており、子LABの仕事のしやすさや子どもの支援の多様化対応、広報力の強化などにも繋がっていきます。

DX化という言葉も擦り切れそうなほど使い古された言葉となってしまいました。



これはなにも仕事に限ったことではありません。しかしITリテラシーが追い付かない大人も多く、子どもが安心してIT活用できる場所が不足し、使用を制限することでしか対応できない場合も多くみえています。

そのためHA－HA－HAでは職員の環境構築から基盤整備を行い、子どもも安心して使用できる環境を構築します。そのためベンダーとの連携を強化しています。

現時点ではデジタルに寄せているところがあります。しかしそれだけでは不足していると考えており、将来的には子どもの環境を三重の木や国産材、自然を活用したもの、就業を意識したものも連動して聞く計画です。



イベントの開催

(田植え・稲刈り・ジャガイモ掘り・さつまいも掘り)

小田農園さんの協力のもと、毎年恒例のシリーズ『米』／シリーズ『芋』が開催できました。お米は特別栽培で毎年好評です!!

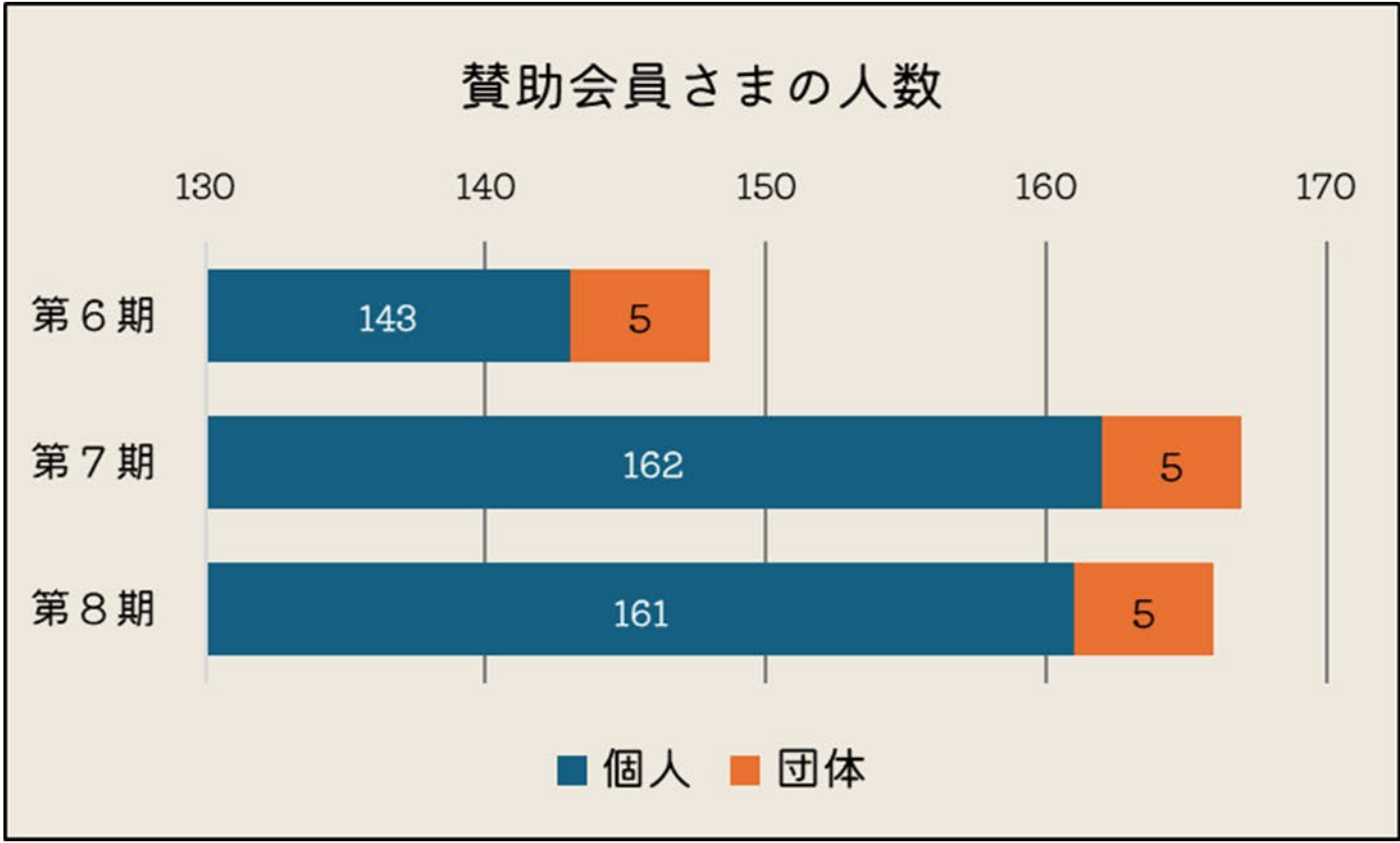
この企画は保護者が安心して、子どもが最後まで行動をやり切れる環境を目指して開催しています。成功にしろ・失敗にしろ、最後まで子どもの意思で結果を体験することこそ大切だと考えています。





HA-HA-HAへのご支援

今期はご寄附 563,000円（賛助会員費含む）とプレゼント8件をいただきました。少しずつ認知度を上げ、共感を得て、ご支援いただけるよう、活動をブラッシュアップしています。



今期の個人賛助会員数はほぼ変動がありません。これは事業の基盤整備に充てた1年だったことでもあります。今後も認知度向上に努めたいと思います。



HA-HA-HAに託してくれた寄附者さん（企業・団体）



爪を科学する
ネイルズサイエンス

ヒロ・テクノサービス



巻き爪ケアサポート
LUANA
ル ア ナ



Pediglass Technology®



個人・団体様 (企業・法人・任意団体など)



ご支援いただける方、ご紹介ください!!!

私たちが必要な時に、必要なことを行うためには、たくさんの支援者と資金が必要です。支援が多ければ多いほど、私たちの声は、より多くの人々に届き、必要な変化を起こす力になります。

私たちは、自立した運営を目指し、障がい児・者が自分らしく生活できる社会の現実を目指しています。避けられがちな活動や変化を求める活動も、皆さんの支援があればこそ続けていけます。

どうか皆さんの思いを会員や寄附の形で託し、私たちの活動を支援をお願いします。皆様のご支援が、私たちの力となり、社会に変革をもたらす一歩となります。



[入会等申込書]

[送付先]

・メールアドレス

npo_hahaha_nyukai@npo-hahaha.jp

・郵送先住所

〒514-0042 津市新町二丁目10-33

・FAX 059-229-1516



[ご寄附申請書]

お問い合わせください。
059-229-1515



ご寄附とプレゼントをいただきました!!

Amazon「みんなで応援」プログラム

ほしい物リストで笑顔をお届け

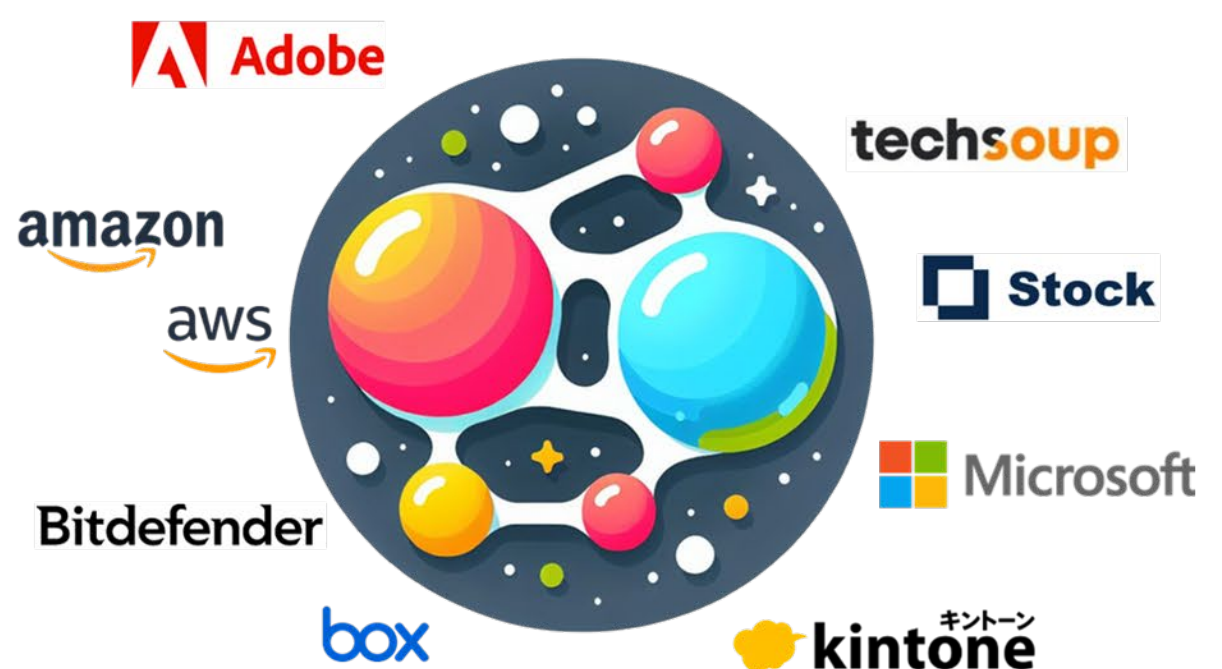


下QRコードからプレゼントをすることができます。非営利活動への支援にご興味ある方、共感をいただいた方などからプレゼントを贈る形でご支援いただいています。

HA-HA-HAに製品を託してくれた企業・団体さん

左の企業さんには、非営利活動団体向けに自社製品、特にIT製品やクラウドサービスを中心に無料やディスカウントの形でご提供いただいています。

非営利活動団体へのそういった配分を行っている世界的な団体がtechsoupであり、グッドガバナンス認証を受けたから、多くの支援を受けられるようになりました。



子LABの働きやすさ



残業時間は全体としては仕事のデザイン通り、短くなっており、仕事時間が自分を圧迫しないことはある程度実現できています。また創立8年で平均在籍4.9年と長く働ける状況かなと思います。しかし1年内の短期退職の方もおられ、改善項目になっています。

私たちは、時間的豊かさと職場の居心地の良さ、給与面での金銭的な豊かさを大切にしています。

特に時間的豊かさは開業当初より残業が発生しないモデルを形成してきました。また職場の居心地の良さもどのようにすればよいか、オープンに話し合うようにしています。最後に一番難しいところではありますが、給与もできるだけアップできるように、運営体制を整えているところです。

HA-HA-HA の理念



- 地域の課題解決へ、遊ぶように、真剣に取り組めます！
- 仕事が自分時間を圧迫しない！
- 古きを活用し、常に新しく、常識に閉じこもらない！

HA-HA-HA の 継続した働き方改革

- ・ 職員が豊かであることが支援の充実に繋がると考えています。
- ・ 多様な豊かさを目指しています。

第8期 平均残業時間（分）	在籍者の平均在籍日数 （開設8年経過）	退職者の平均在籍日数
 17.1分	約4.9年	約2.1年 

処遇改善加算の取得の推移（※職員の待遇改善に使用する必要のある給付費）
職員の給与改善のため、積極的に処遇改善加算等の給付を取得しています。

第8期	第7期	第6期
 7,041,061円（↑）	6,428,720円（↑）	4,965,091円

私たちは
自然に配慮した、
私たちに
継続可能な子ども支援
障がい者支援を
みんなが主体的に
意思表示する活動を
HA-HA-HAと楽しく行います

Certified

